

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フォージ・エンバー	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：FORGE EMBER

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤 番

比較対照ボール：IRON FORGE

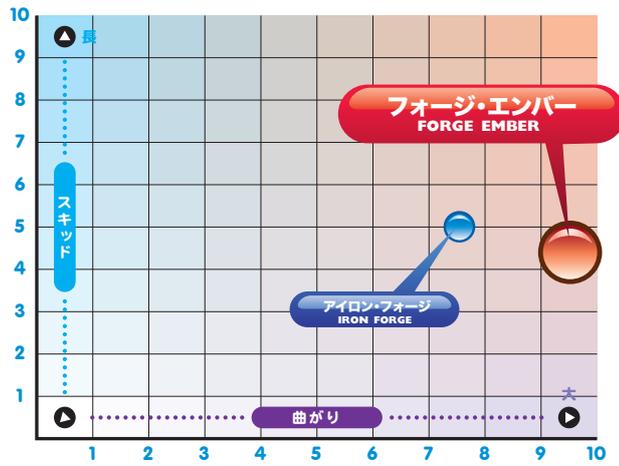
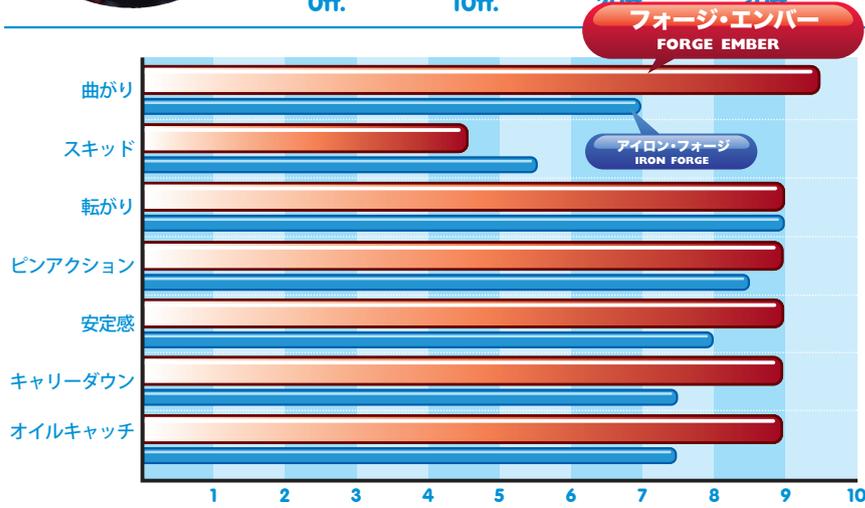
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤 番



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil
バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle
レンゲス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

ボールの評価

ABSボール開発チームはモーティブ社のケミカルディレクターと連携をとり、このたび新しい試みのカバーをこのフォージ・エンバーに搭載する運びとなりました。モーティブ社のカバーストックは走りと先の動きを強調するインフュージョンカバーストックとトラクション(手前からの安定したキャッチ)を基調とするコウアーションカバーストックがあります。この相反する二つのカバーは各々特徴を持ち、インフュージョンでもう少し手前のブレーキ感が欲しいとか、コウアーションでもう少し反応の良い動きが欲しい等、それぞれ要望がでできます。そこに今回ABS開発チームは光をあて、インフュージョンカバーストックにトラクションとコントロール性を兼ね備えた”MXC”(Maximum Continuation)という、「走りとトラクションの融合」という相反するカバーの特性をミックスしてインフュージョンにMXCという独特な凹凸の形状のシェルを作り上げました。

このカバーが出来上がったことで、インフュージョンのイメージを持ちながら持続的に曲がるキャッチ感を得られることと、キャッチをさせたときにどうしても感じてしまう手前の重たさを最小限に抑え、持続的に曲線を描いて曲がり続けるイメージに仕上がっています。ハイブリッド素材で表面仕上げも#2000Grit LSSで強めに仕上げられています。序盤から中盤まで広範囲のコンディションに対応可能なイメージが私には好印象で、このスペックに留まらず、ほかのコアとの組み合わせも試してみたいと思わせる出来です。

特記事項

新開発のInfusion MXCは、用途の違うカバーの革新的な組み合わせでまた新たな領域へと踏み込んだ素材です。このカバーは試す価値あります。